

タイサブコン協会インタビュー

-まず始めに、タイサブコン協会について教えてください。

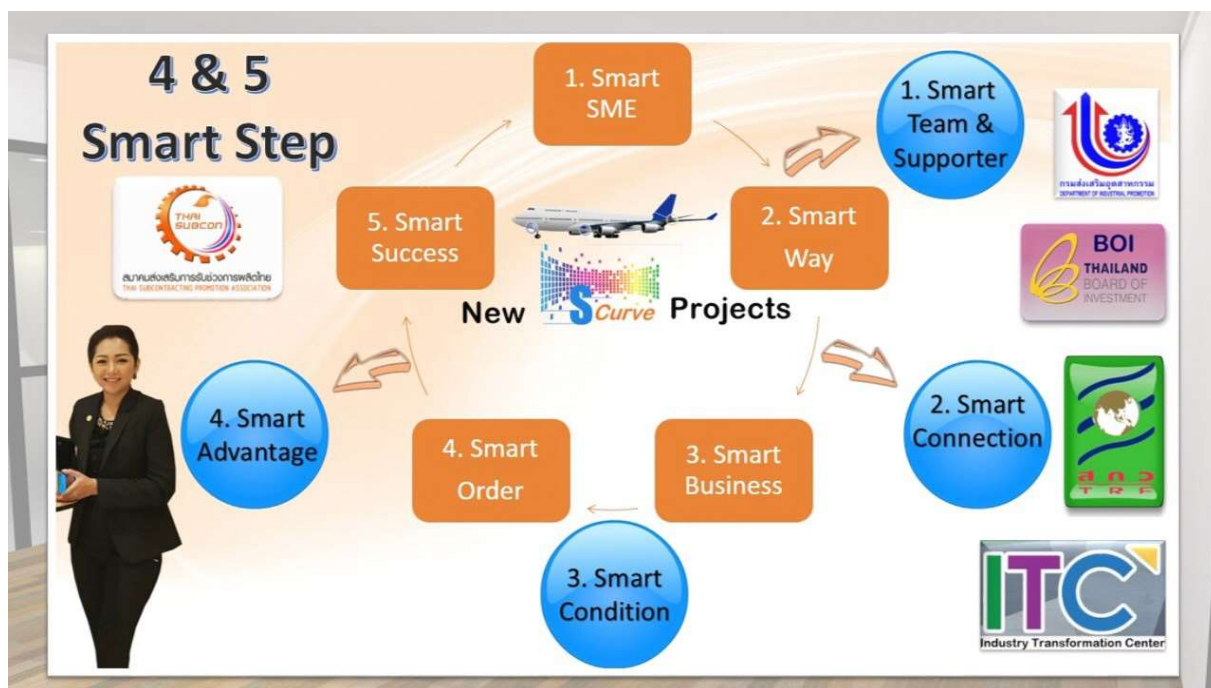
当協会では協力関係の構築、利益を生み出す新規ビジネスのサポートに力をいれています。技術を持つ企業が当協会のコネクションを通じて、ジョイントベンチャーを設立、または資本提携を行い、その技術を必要とする企業に提供されています。このようなサポートは、新規ビジネスを生み出すのに役立っていると思います。また政府に新規事業への特権付与などの支援をするよう働きかけています。これこそ当協会の目的です。近年、多国籍企業が意図的に低税率国に多くの課税所得を移転することで、他国の税源が失われる問題（いわゆる BEPS）が取りざたされており、OECD 主導のもと BEPS プロジェクトの主要項目の 1 つとして移転価格文書作成の制度化が整備され、タイ国を含め様々な国で導入が議論されています。

近年、景気が良くないこともあり、コネクションが無ければビジネスは難しいでしょう。でもジョイントベンチャーになれば、タイ側のコネクションを利用でき優位になれます。我々は「What are you looking for?」まずあなたは何を探しているのかと質問をし、「We can find for you」必要としているものを見つけ、「We go with you」共に歩むという一つの経営理念を持っていますが、日本企業もタイ中小企業を技術面や共同出資というかたちで支援して欲しいと願っています。これこそ、WIN-WIN コラボレートです。製品の製造依頼を行うだけといったサポート形態の時代は終わったと思います。それゆえ、当協会では(企業間やタイ政府との)コーディネートや情報提供を行う Team Smart Lady を発足させました。



-Team Smart Lady について更に詳細を教えてください。

タイでは男性が話しあうとシリアスになりすぎる傾向があるため、ソフトなサポートを目指して Team Smart Lady を立ち上げました。例えば、当協会の会員になることを検討している企業があれば、 Team Smart Lady が連絡を取ります。そして重要な点ですが、4&5 ステップシステムつまり 4 つのサポートで 5 つの成功が導けるよう一連の仕事をサポートします。



-タイサブコン協会の会員企業の強みを教えてください。

当協会の会員企業は自動車部品の製造に優れています。しかし、将来、電気自動車に変わってしまうことが考えられるため、あらたな市場を開拓する必要がありますが、自動車部品を製造している企業は多数にのびります。重要な点として、将来の市場の変化にも対応できるよう、医療機器や航空機部品の製造ができるよう製造水準を上げていく必要があります。

もう一つの強みは、政府の公企業部門や様々なクライアントとのコネクションです。また別の点として、低価格で新商品のデザインするための技術を持っています。また当協会は他協会や BOI とのコーディネートが可能です。彼らは全製造企業を把握しているので企業を紹介することができます。政府の公企業部門ですが、BOI の他に工業省があります。地方の工業省は各県の工場や製造業について把握していますので、共同出資を検討している企業へ役立つ情報を提供できるでしょう。

-タイだけでなく、海外拠点を持つ会員企業はありますか。

大半の企業はタイに工場を持っており、事業規模はまだ大きくありません。サブコンは部品を受け取り製造する請負事業です。大半は海外に拠点が無く、企業独自の製品もありません。しかしながら我々会員企業は海外企業、とりわけ日本企業とのビジネスに関心があります。もし我々が低コストで製造可能な地域で製品の製造及び販売も行い、その後、全世界規模でそれらの製品販売が可能となれば何よりです。そのためにも我々は協力しあう必要があります。

- (タイでの事業参加を考えている) 日本企業が取り分け関心のある技術や製品はありますか。

関心があり助けになれる分野は工場用器具です。ただ工場用器具といっても多岐に亘ります。当協会は様々な工場を知っており、各工場によって必要な器具は異なります。ある種の器具はタイで製造することができません。今後、タイサブコンはタイでまだ製造できない製品を取り扱い、それらの製品紹介といった主要な役割を担う可能性があります。

- タイサブコン協会の会員企業で日本企業とジョイントベンチャーになったり、共同事業を行っている企業は多いでしょうか。

ありますが、さほど多くはありません。多くは、日本企業がタイに工場を建設し、部品製造を発注するというケースです。しかし、将来、日本企業と共同で事業を行いたいと考えています。医療器具や航空機部品製造に優れている企業があれば、是非、タイでの事業に参加頂きたいです。今後、タイはアジア航空路線のハブ空港となり、航空機メンテナンスのため航空機離着陸数も最多となるでしょう。また、タイには外国人が訪れる病院も多いです。しかし、医療器具設備の製造をしているタイ企業はほとんどありません。

- 日本では高齢者のための介護保険制度があり、介護用品購入をサポートしています。そのため日本では高齢者用製品を製造する企業がたくさんありますが、タイ企業で当事業への出資に関心がある企業はありますか。

関心ある企業を探すことは可能ですが、まず、どこでニーズがあるか情報収集を行い、広告や当事業について周知できればと思います。(関心ある企業が) 当協会の会員になれば、企業同士の話し合いが可能となり連帯することができます。タイサブコンの会員で医療機器に関する事業を行っている企業は少ないですが、高齢者用製品及びその需要がどこにあるかわかれば、当事業とコネクションがある企業を見つけることは可能です。しかし、現在、受託製造のみの企業から変っていくため、市場にコネクションを持っている会社を探しています。タイに市場がある商品があれば、外国会社として販売するよりタイ企業とジョイントベンチャーしたほうが特別な商権が与えられます。このような動き方は成功する可能性が高いといえます。もし製品価格が高いようであれば、客層の選択が必要です。現在、購買力がある富裕者層とそうでないグループに市場は分かれています。購買力がある人々に製品を販売できれば利益は大きくなるでしょう。

- タイサブコン協会から日本企業にメッセージや PR がありましたら教えてください。

私どもはタイ企業とジョイントベンチャーを目指す企業に対し、いつでも協力しサービスを提供できます。生産分野や市場においてタイには無い製品を求めています。もしそのような製品を持つ日本企業があれば、是非、ジョイントベンチャー設立をご検討頂ければと思います。企業交流会に参加した際、高度な医療機器に関する技術をもつ企業と出会いました。タイ企業が社内で(医療機器開発)する代わりに(技術を持つ)日系企業に製造してもらうこともできます。またはジョイントベンチャーとなることもできます。

▶ タイ経済指標

項目	単位	2016	2017	2018	2019	
GDP 成長率	前年比ベ(%)	3.2	3.9	4.2	4.2(18年12月)	
人口*	千人	67,506	67,697	67,869	67,882(1月)	
労働者の数*	千人	37,792	37,716	38,353	38,322(2月)	
失業率**	%	0.99	1.18	1.06	0.78(2月)	
最低賃金*	バンコク チョンブリー アユタヤー ラヨン	バーツ/日	300 300 300 300	310 308 308 308	325 330 320 330	325(3月) 330(3月) 320(3月) 330(3月)
賃金:全国製造業の平均	バーツ	12,402	12,473	12,831	13,224(2月)	
インフレ率**	前年比ベ(%)	0.19	0.67	1.06	0.5(2月)	
中央銀行政策金利*	%	1.50	1.50	1.75	1.75(3月)	
普通貯金率**	%	0.47	0.47	0.47	0.47(2月)	
ローン金利(MLR)**	%	6.47	6.35	6.32	6.32(2月)	
SET 指数*	1975年:100	1,542.9	1,753.71	1,563.8	1638.65(3月)	
バーツ/100円**	バーツ	32.53	30.27	29.26	28.71(3月)	
バーツ/米ドル**	バーツ	35.30	33.9	32.31	31.61(3月)	
円/米ドル**	円	108.8	112.2	110.4	110.2(3月)	
車販売台数(1月からの累計)	台数	765,593	869,763	1,041,311	180,190(2月)	
BOI 認可プロジェクト	件数	1,688	1,227	1,469	1,469(18年12月)	
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	861.3	625.08	549.48	549.48(18年12月)	

*期末、**平均

[出展: NESDB, BOT, MOL, SET, BOI]

岡山県タイビジネスサポートデスク
Asia Alliance Partner Co., Ltd.

所在地: 1Glas Haus Building, 12th Floor and Room 502, 5th Floor, Soi sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd., Klongtoey Nua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand

担当: 三橋 一史 (みはし かずし)

「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています(岡山県から [Asia Alliance Partner Co., Ltd.](#) に業務を委託)。
ご利用に当たっては、「岡山県タイビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、
[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)(電話 086-226-7365)までご相談ください。